

「臨床入門 臨床実習の手引き」

佐賀医科大学助教授
佐賀医科大学助教授
川崎医科大学講師
佐賀医科大学教授
国立大阪病院内科
祐愛会織田病院内科医長
佐賀医科大学総合診療部
山口大学講師
桜町病院内科部長

福井次矢 編集
福井次矢
伴信太郎
幸田 弘
木戸友幸 執筆
西山雅則
白浜雅司
井上裕二
松井征男

従来の診断学教科書は、一般に理論が先行し、その応用に当たっては多くの経験を加味しないと第一線で役に立たないという不満があった。

最近、佐賀医科大学総合診療部の福井先生を中心に第一線の若手専門家が協力して、上記の課題を乗り越えた新しいタイプの診断学教科書が出版された。

まず本書を一読すると、その解説が極めてわかりやすく、具体的である。序にもあるごとく、医学知識や手技は、患者へのメリットを高めるために利用されて初めてその価値を持つもので、その場合のソフトウェアとしての臨床決断科学が真の診断学と言うべきであろう。

特に病歴の取り方、診察の仕方の

記載は、経験の長い私にもなるほどと思わせる多くの問題を提示してくれ、極めて斬新である。患者の信頼をかつとる対応の仕方などは、豊富な経験に裏打ちされた哲学から滲み出たものといってよく、ほかの診断学教科書にはない本書の大きな長所と言える。

ただ、本書で体得できる患者との対話を、単に技術的な問題として修得するとすれば、それは本末転倒である。まずヒューマニズムに基づく患者への深い愛情があって、その表現としての診察技術でなければならないことは、言うまでもないことながら、強調しておきたい。

以上、私の読後の感想をもって本書の推薦の辞としたい。

(鹿児島大学学長)
井形 昭弘

●A5変型 220頁 1991年
定価2,987円(税込) 送料300円

—医学書院 刊(☎03-3817-5657)